



生きものも人間も幸せになる
社会をつくろう。
生物多様性条約
市民ネットワーク



公開セミナー

生物多様性と日本の消費行動

日本の消費行動に与える影響とは？私たちの身近な生活で使われている紙、パーム油、金属などの原料のサプライチェーン（調達から生産・販売・物流を経て需要者に至る流れ）を遡ってみましょう。

インドネシア・スマトラにおけるアカシア植林開発、サラワクにおけるパーム・プランテーション開発、ニューカレドニアのニッケル開発など、最上流で起きていることを通じて、日本の消費行動が生物多様性に与える影響を振り返ります。



- 日時 2010年8月16日（月） 18:00～20:30
- 場所 世界銀行東京事務所 東京開発ラーニングセンター

■ プログラム（敬称略）

- | | |
|--|----------------------------|
| イントロダクション～世界の生物多様性につながる日本の消費
飯沼佐代子（地球・人間環境フォーラム） | 18:00-18:15 |
| 事例1：紙の消費と熱帯林・泥炭地／インドネシア・スマトラから
川上豊幸（レインフォレスト・アクションネットワーク） | 18:15-18:40 |
| 事例2：パーム油とプランテーション開発／マレーシア・サラワクから
秋山映美（ラッシュジャパン キャンペーン担当）
[一言メッセージ] 樫田秀樹（ジャーナリスト） | 18:50-19:10
19:10-19:20 |
| 事例3：エシカル・ケータイは実現可能か～鉱物資源と生物多様性
満田夏花（国際環境 NGO FoE Japan）
[一言メッセージ] 加治知恵（A SEED JAPAN） | 19:35-19:55
19:55-20:05 |
| 質疑・議論 | 20:05-20:30 |

- 主催： 生物多様性条約市民ネットワーク、IUCN 日本委員会、世界銀行東京事務所
- 共 催： 国際環境 NGO FoE Japan、地球・人間環境フォーラム
- 協 力： 熱帯林行動ネットワーク(JATAN)、レインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)、国際青年環境 NGO A SEED JAPAN、アムネスティ・インターナショナル日本

問合せ先：国際環境 NGO FoE Japan

〒171-0014 東京都豊島区池袋 3-30-8 みらい館大明 1F

tel: 03-6907-7217 fax: 03-6907-7219 E-mail: forest@foejapan.org

◆講師プロフィール

川上 豊幸(かわかみ・とよゆき)／レインフォレスト・アクション・ネットワーク日本代表部

米国の環境保護 NGO であるレインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)日本代表部スタッフ。経済学博士。専門は国際環境経済学。NPO 法人 AM ネット理事。熱帯林行動ネットワーク(JATAN)運営委員。2005 年に、RAN の日本代表として事務所を設立後、豪州タスマニアの原生林保護やインドネシアの熱帯林保護活動を行う。昨年より、REDD+(途上国の森林減少・劣化に由来する温室効果ガス排出の削減)問題にも取り組んでいる。

秋山映美(あきやま・えみ)／株式会社ラッシュジャパン

明治大学大学院法学研究科修士課程修了。学生時代よりボランティアとして参加していた NPO 法人監獄人権センターに、2002 年 8 月から事務局スタッフとして勤務し、現在は理事として活動にかかわっている。2009 年 7 月にラッシュジャパンに入社、2010 年 3 月に行った「核廃絶キャンペーン」をはじめとした社会活動キャンペーンの企画・運営を担当している。

満田 夏花(みつた・かな)／国際環境 NGO FoE Japan

国際環境 NGO FoE Japan、「森林と生態系保全プログラム」「開発金融と環境プログラム」に所属。前職の地球・人間環境フォーラムで「開発途上国における企業の社会的責任 (CSR in Asia)」、「国際協力における環境社会配慮」、などの分野で活動を行ってきた。現在は、生物多様性と資源調達などの調査・提言活動に従事。JETRO 環境社会配慮諮問委員会委員など。

ドキュメンタリー「森の慟哭」(22 分) 販売中

上映会向け貸し出しは無料

生物多様性の宝庫として名高いマレーシア・ボルネオ島サラワクの熱帯雨林とそこに生きる人々は、森林伐採、アブラヤシ農園開発、ダム開発など開発の最前線にさらされてきました。日本では報道される機会の少ないサラワクの現在の状況を、開発地周辺に暮らす住民や先住民の人々へのインタビューを交えて紹介します。



監督：中井 信介(なかい・しんすけ)

フリーランスビデオジャーナリスト。1967 年京都生まれ。1993 年よりフィリピンや北方四島の民衆の暮らしを取材。1996 年、第一回アジアウェブ賞受賞。2004 年、フィリピンの米軍演習場跡地に暮らす不発弾被害者を描いたドキュメンタリー映画「クアリ」を制作。2006 年、ソウル人権映画祭に出品。同年 1 月より韓国の平澤米軍基地の拡張による立ち退きに抵抗する農村「テチュ里」に暮らしながら撮影を始める。RKB 毎日放送制作「テチュ里の灯火」撮影。短編ドキュメンタリー「がんばれ！ファンセウル」で「国際人権教材奨励事業 AWARD2006」を受賞。

定価 3,150 円(消費税・送料込み)

図書館価格*：12,600 円(消費税・送料込み) * 不特定多数の方への貸出を行う場合、図書館価格となります。

上映会向け貸し出し：無料

制作：国際環境 NGO FoE Japan